

タンポポなんて知ってるよ？

タンポポはほとんどの人が知っている花です。

河原でも春になると一面真っ黄色に染めていたり、堤防を彩ったりしています。

そんなタンポポにも、まだまだおもしろいことが隠されています。

一つの花、でもたくさん花



エゾタンポポの花

タンポポの花を一つ絵に描いてください、と言われたらどんな花を描きますか？ 茎の上に一つの花、そんな絵を描くのではないのでしょうか。

それもまちがいでありません。でもたくさんある花びら、実はこの花びら1枚1枚が、雄しべも雌しべももつ、1つの花なのです。



河原を一面黄色く染めるセイヨウタンポポ

背伸びしてタネをとばす

タンポポの綿毛に息を吹きかけて。綿毛のついたタネをとばしたことがあると思います。

タンポポの仲間は、風に乗せてタネを飛ばし、生きる場所を広げます。

しかし、ただ風を待つだけではありません。花の後一度茎を寝かせて、タネが熟したところで茎を持ち上げ、花の時よりも高く伸ばします。



アキタブキの花、フキノトウ（アイヌ語名マカヨ）もタネの時期になると高く伸び、綿毛をつける



タネと綿毛をつけ、背を高く伸ばしたエゾタンポポ

北海道のタンポポと外国から来たタンポポ



エゾタンポポ。昔から北海道にいた在来種



セイヨウタンポポ。外国からやってきた外来種

河原や広場、道ばたで見かけるタンポポのほとんどは、もともと外国からやってきたタンポポです。

それとは別にずっと昔から北海道で生きてきたタンポポもあります。セイヨウタンポポに比べて花の時期が短いせいか、なかなか見つけれません。

エゾタンポポが育ちやすい環境が少なくなったようです。



エゾタンポポとセイヨウタンポポが一緒に生えている

なぜ「タンポポ」というの？

「タンポポ」の意味。実ははっきりしていません。

昔「タナ」と呼んでいたのがタンに変わり、タネの綿毛がほほけているのでポポをつけた、とか、別名「鼓草」と呼ばれ鼓の音を表した音からタンポポとなった、とかいろいろな説があります。

フランス語では「dent de lion＝ライオンの歯」と言われギザギザの葉からつけられたといえます。



エゾタンポポがつけたタネ

タンポポのサラダとコーヒーで朝食を…

セイヨウタンポポは、昔（1800年代）札幌農学校（今の北海道大学）の教師、ペン・ブルックスがサラダの材料として持ち込んだのが、日本にやってきたきっかけだ、という説があります。

つまり（セイヨウ）タンポポはもともとヨーロッパでは野菜なのだから、当然食べられます。ただし、エゾタンポポは数が減っているなので、区別して遠慮しましょう。

- ① 生のままドレッシングであえてサラダ（苦みあり。特に日当たりの良いところのものは苦い）
- ② さっとゆでて水にさらしてアクを抜き、おひたしや酢の物、天ぷらなどに
- ③ 根をたっぷりの湯（塩ひとつまみ）でゆでて水にさらしてアクを抜き、きんぴらや炒め物に
- ④ 根を生のまま刻んで陰干しし、から煎りした後ミルでひけば「タンポポコーヒー」

さらに、葉を煎じたものは胃炎、乳腺炎に、根を煎じたものは健胃、利胆、解熱に効く薬となるといいます。

参考文献

「日本のタンポポとセイヨウタンポポ」 小川潔 どうぶつ社 2001
 「改訂増補 牧野新日本植物図鑑」 牧野富太郎 著 小野 他編集 北隆館 1989
 「新版 北海道の花(増補版)」 鮫島修一郎・辻井達一・梅沢俊 北海道大学図書刊行会 1993
 「日本の野生植物 草本Ⅲ」 佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社 1981
 「北海道植物図譜」 滝田謙讓 自費出版 2001
 「北海道帰化植物便覧」 五十嵐博 北海道野生植物研究所 2001

「モーリー5号」(財)北海道新聞野生生物基金 編集 北海道新聞社 2001
 「図説花と樹の大事典」 木村陽二郎 監修 植物文化研究会・雅麗 編集 柏書房 1996
 「日本のチョウ」 上野明雄 小学館 1981
 「北見の蝶」 木村辰正 北見市教育委員会 1994
 「新版 北海道山菜実用図鑑」 山岸喬・山岸敦子 北海道新聞社 1994
 「新版 北海道山菜図鑑」 佐藤孝夫 亜璃西社 1995